

提出締切：2010年5月20日（木）

2009年度採択 研究推進プログラム「基盤研究」 研究成果報告書

研究代表者	所属機関・職名： 国際関係学部・教授 氏名： 中川涼司
研究課題	中国 IT 企業家の諸類型とビジネスモデルの社会的形成条件

## I. 研究計画の概要

研究の計画について、概要を記入ください。

企業家 (entrepreneur) はシュムペーターのいう「イノベーション」ないし「創造的破壊」の担い手として規定される。では、驚異的な発展を遂げる中国の IT 産業の企業家達はどのように類型化され、特徴付けられるのだろうか。また、企業家達の類型はビジネスモデルに如何に反映しているのだろうか。

中川は中川涼司[2001]で中国の IT 企業家を 3 つの世代にわけて分類した。すなわち、第 1 世代は国有企業の中であるいは事実上民間化した国有企業で計画経済的な経営スタイルから市場経済的な経営スタイルへの転換を主導しつつ、政治協商会議委員等として政府の政策に深くコミットした層である。第 2 世代は、技術力を背景に小企業を立ち上げ、既存大企業との対抗で漸進的に成長を遂げてきた層である。第 3 世代は、技術力というよりもビジネスモデルで優位に立つことを志向する層であり、設立当初からベンチャーキャピタルの支援を得て、急成長を遂げるとともに、創業者が巨大な創業者利得を獲得していった層である。第 3 世代には多くの海外帰国者（海亀族）が存在する。

中川涼司[2008]は中国の主要 IT 企業 28 社の経営者のプロファイリングを行い、中川涼司[2001]による 3 つの世代区分と国内キャリア組、海外帰国組、(台湾を含む)外国人という経歴とを組み合わせた 9 つのセル、企業家型、内部昇進マネジメント型、プロフェッショナル経営者型の 3 類型を作り、その中に類型化した。

今回助成を受けた研究の目的は、これまでに行った中国 IT 企業家のプロファイリングとビジネスモデルの関係に関する研究を 対象企業の拡大(200 社程度)、プロファイリングの精緻化と新たな類型化、企業家のバックグラウンドとビジネスモデルの関係の定量的分析を通じて、中国 IT 企業家の諸類型とビジネスモデルとの関係をより精緻な形で分析することにあった。

## II. 研究成果の概要

研究成果について、概要を記入ください。

上記研究計画に基づき、以下の業績を発表した。

「中国電気通信コモディティキャリアにおける『官僚企業家』 - 中国における IT 企業家と社会的形成モデル 2 - 」『立命館国際研究』第 22 巻第 2 号、2009 年 10 月

「中国オンライン・デジタルコンテンツ・ビジネス企業家と社会的形成モデル」『国際地域研究』第 30 号、2010 年 3 月

「中国フラット・テレビ、フラット・パネル・ディスプレイ製造企業と企業家 - 中国の IT 企業家と社会的形成モデルその 3 - 」『立命館経済学』第 58 巻第 5・6 号、2010 年 3 月

「中国 IT 企業家の世代交代とビジネス・モデル - 頭脳循環モデルの妥当性 - 」(夏目啓二編『アジア ICT 企業の競争力 - ICT 人材の形成と国際移動 -』ミネルヴァ書房、所収)、2010 年 4 月

「中国におけるオンライン・デジタルコンテンツ・ビジネスと『頭脳還流』・『クリエイティブ・クラス』」(関下稔・中川涼司編『知識資本の国際政治経済学 - 知財・情報・ビジネスモデルのグローバルダイナミズム -』同友館、所収)、2010 年 4 月(見込)